

本気の姿勢は人生を変える。 いよいよ体育大会が始まります。思い切り取り組んでほしいと思います。河南中学校は、昔から行事に本気で取り組む学校です。応援合戦も河南体操も本気で行き、校歌も本気で歌う。それが伝統・文化となっています。時代が変わっていく中で、変わっていくものもあれば、変わらないものもあります。中学校で思い切り取り組んだ経験は大きな財産となります。これは、時代が変わったとしても変わらないことです。ぜひ、体育大会に本気で取り組む姿勢を見せよう！ 人が感動する時・・・それは、「見ている人が『ここまでやるか!』と思ったとき」です。応援合戦、河南体操、校歌…これらを『ここまでやるか!』と思わせて、痺れる体育大会にしよう！	1年 体育大会は、子どもたちの成長を感じることでできる行事の一つです。競技で力を発揮する姿はもちろんですが、友達に声をかける姿、係の仕事に責任をもって取り組む姿、うまくいかないときに仲間と相談する姿など、競技以外にもたくさんの「成長の瞬間」があります。特に、先日の学年集会でも話をさせてもらいましたが、競技の終わる瞬間、終わった瞬間に見せる生徒のみなさんの表情や態度などにその人の本質が現れるのだと思います。その成長は体育大会や中学校生活に留まらず、人間としての成長につながるものだと思います。体育大会を通して「成長の瞬間」が見られるのを楽しみにしています。 さあ、いよいよ体育大会 3年 体育大会が近づき、競技や応援の練習にも熱が入っています。みなさんはどのような気持ちで練習に取り組んでいますか。精いっぱい頑張ること、協力すること、あきらめないことなど、体育大会で学べることはたくさんあります。一生懸命取り組むことで、うれしい経験も悔しい経験もできるでしょう。そういった学びや経験が皆さんの成長につながっていきます。中学校での行事は自分自身が成長するチャンスなのです。ぜひとも「やりきった達成感」を感じられる、思い出に残る体育大会を、みんなで作り上げましょう！ 令和8年度 全国学力（国語・数学・英語）・学習状況調査の結果の考察 4月22日（水）、23日（木）、4月28日（火）に、3年生を対象として、国語、数学、英語の3教科および生徒質問紙調査が実施されました。生徒質問紙は主に家庭での生活の様子、学校や家庭での学習状況、子どもたちの考えや感じていること等を問う調査です。以下に、本校の今年度の結果の考察を掲載します。 本校の調査結果を平均正答率で見ると、3教科（国語・数学・英語）すべてにおいて、全国および大阪府の平均をやや下回る結果となりました。各教科の結果を詳しく見ていきます。 【国語に関して】 全体として、国語の基礎的な力と、文章を読み取って自分の言葉で表現する力の両面に課題が見られました。領域別にみると、「話すこと・聞くこと・書くこと」については、全国および大阪府の正答率とほぼ同程度であるが、「読むこと」については下回っており、課題となっています。また、「思考・判断・表現」においては全国および大阪府の正答率とほぼ同程度であるが、「知識・技能」については下回っており、言葉の特徴や使い方、情報の扱いなどにも課題があります。さらに、問題形式から見ると、選択式に比べ、短答式・記述式の正答率が低くなっています。つまり、「答えを選ぶ」ことはできても、「文章から根拠を探し、自分の言葉
--	---

で説明する」ことに課題があることがわかりました。

今後は、授業の中で①文章を丁寧に読む→②根拠となる部分を見つける→③情報を整理する→④自分の言葉で説明する、という学習過程を大切にしていきます。特に、国語だけでなく各教科で「なぜそう考えたのか」「どこからそう判断したのか」を文章で説明する活動を増やすことで、読解力、記述力の向上につなげていきます。

【数学に関して】

領域別に見ると、「数と式」については全国および大阪府の正答率とほぼ同程度ではあるが、「図形」「関数」「データの活用」については下回る結果となりました。基礎的な計算や式の処理は一定程度できてはいるが、複数の情報を読み取り、数学的に考え、理由や根拠を説明する問題で正答率が低くなっています。さらに、問題形式から見ると、特に記述式の正答率が低く、自分の考えを数学的な根拠を用いて説明する力に課題があります。

今後は、基礎の反復だけでなく、基礎的な知識を使って「考える・説明する」活動を充実させる必要があります。具体的には、①情報を読み取る→②関係を整理する→③根拠を考える→④自分の言葉で説明する、という学習過程を大切にしていきます。特に、関数・図形・データの活用を中心に、日常の授業の中で「なぜそうなるのか」を根拠を持って考え、自分の言葉で説明する活動を充実させていきます。

【英語に関して】

全体として、基本的な英語表現の理解、語句や英文の意味を捉える問題では、一定の力が身についている一方、複数の情報を読み取り、内容を判断したり、自分の考えを表現したりする問題に課題が見られました。特に、英文や資料から必要な情報を読み取り、内容を判断したり、自分の考えを表現したりする問題では、正答率が低くなっています。また、長文や複数の情報を扱うことにも課題が見られました。

今後は、「英文を読む量を増やすこと」「英文から根拠となる情報を探す活動を増やすこと」「なぜそう考えたのかを英語や日本語で説明すること」「短い英文を書く活動を日常的に取り入れること」「聞く→読む→考える→話す・書くという4技能を関連付けた授業を進めること」を意識した活動を充実させていきます。

【生徒質問紙の結果から】

生徒質問紙の結果を全国および大阪府の結果と比較して、

◎肯定的な回答の割合が高かった項目

- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか。
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

◎肯定的な回答の割合が低かった項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

- ・ I C T 機器を使って、文章作成、情報整理、スライド作成などができると思いますか。
- ・ 1、2 年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・ 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

以上より、本校3年生に関して、生徒の他者理解や学習に対する意欲、教員との信頼関係などが比較的良好な状況にあると考えられます。しかし、自己肯定感や社会参画、表現力・対話力、I C T 活用などに課題が見られました。今後は、肯定的な回答が高かった「他者を理解しようとする姿勢」「主体的に学ぼうとする姿勢」を学校の強みとして生かし、その上で、「生徒一人ひとりのよさや成長を認め、自己肯定感を高める」「友だちや地域・社会と関わり、役立つ経験を増やす」「I C T を効果的に活用し、情報を整理・発信する力を育てる」という取り組みを進めてまいります。特に、①自分のよさに気付く→②自身をもって考えを表現する→③他者の考えを受け止める→④学びを深め、行動につなげる、という学びの循環を意識することで、生徒の自己肯定感と主体性の向上につなげていくことが、本校の今後の重点課題であると考えています。

【部活動 活動報告】

※男子ソフトテニス部

9月12日(土)2026年南河内地区新人大会 B ブロック予選 個人戦

ベスト8	・
ベスト32	・、・、・
2回戦	・、・
1回戦	・、・、・、・、・

9月19日(土)2026年南河内新人戦 決勝大会 個人戦

ベスト16	・
1回戦	・、・、・

※女子ソフトテニス部

○9月12日(土) 地区新人戦ブロック予選

ベスト4	・
ベスト32	・
2回戦	・、・、・
	・、・、・
1回戦	・、・

○9月19日(土)秋季新人大会個人戦

ベスト16	・
-------	---

※陸上競技部

●9月6日 U16代表選考会 兼 記録会 @ヤンマーフィールド長居

女子 U16選考会1000m	2:59.50	第2位
女子中学1・2年砲丸投	10m28	第6位
男子中学共通110mH(0.914m/9.14m)	16.11(-0.5)	第7位

●9月22日 河南陸上クラブオータム記録会@金岡公園陸上競技場

女子中学共通800m	2:17.78	第1位
女子中学共通1500m	4:43.81	第1位
男子中学共通走高跳	1m70	第2位
女子中学共通砲丸投(2.721kg)	10m26	第3位
女子中学・高校共通円盤投(1.000kg)	22m92	第6位
女子中学共通砲丸投(2.721kg)	10m04	第4位
男子中学共通100mH(0.838m/8.5m)	17.54(+1.2)	第5位
女子中学共通1500m	5:28.08	第5位
男子中学共通110mH(0.914m/9.14m)	15.57(+2.8)	第6位
男子中学2・3年・高校共通走幅跳	5m57(+1.8)	第6位

少しずつ涼しくなり、練習がしやすい気候になってきました。8月に地区総体が終わり、大阪中学総体や駅伝に向けて練習を頑張っています。3年生の選手は、“理想の引退”ができるように、あと残りわずかの中学校での陸上人生を謳歌してほしいと思っています。《うまくいったから自信がつくのではなく、自信があるからうまくいく。》良い結果を出すには、『どれだけ練習に本気で取り組めたか』、『試合で出したい記録を練習や記録会で出しておく』、『あらゆる事態を想定して最高の準備力で臨めたか』などが大事だと思います。今までの学びをいかして、最高のパフォーマンスを発揮し、“理想の引退”をしてほしいと思います。“引退するとき、感謝の気持ちを誰に伝える？”“なぜ、ここまで続けてこれた？”“陸上部に入って最高の思い出は？”“後輩たちに、アドバイスを送るとしたら？”“後輩たちからどんな言葉をもらえたら最高？”・・・考えてみましょう！

2年生はあと1年ほどで引退の時期を迎えます。中学校での部活動人生も折り返し地点を過ぎています。あっという間です。1年生も半年後には先輩になります。これからは、1・2年生がチームの中心になります。

“本当は”どんな自分でありたいのか。“本当は”どんな結果を出したいのか。自分と向き合いながら、これからも一緒に頑張っていましよう!これからが楽しみです。

保護者の皆さま、いつも応援ありがとうございます。気温が上がったり下がったりと体調を崩しやすい季節です。お身体にはくれぐれもお気をつけください。

(陸上競技部顧問)